

安中市 議会だより



◆発行日 平成30年 1月26日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 碓氷印刷



鳥追い祭り(原市地区)

迎春

新年のごあいさつ

議長 齊藤 盛久
副議長 上原富士雄

新年あけましておめでとござい
ます。市民の皆様には、輝かし
い新春を健やかにお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

昨年の五月にそれぞれ議長・副
議長に就任し、早くも八カ月が過
ぎました。本年もより身近で活力
ある議会を目指し、市民の皆様の
付託にこたえてまいりたいと、あ
らためて決意しております。

このようなか、市議会では三つ
の特別委員会にて議会改革、地域
医療対策、人口問題対策について
調査・研究を行い、議員資質の向
上、地域医療問題、まちづくりの
在り方など、その諸問題や対策に
ついて協議を重ねております。

市民の皆様方には、なお一層の
ご指導、ご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご繁
栄を心からお祈りし、新年のごあ
いさつとさせていただきます。

平成二十九年安中市議会第四回定例会は、十二月四日から十二月十五日までの十二日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案などは、専決処分承認一件、条例の一部改正や平成二十九年度補正予算など十三件、あわせて十四件でした。

定例会のあらまし

◇4日 本会議 会期の決定、専決処分の承認一件、議案七件を上程。(内四件を即決) 議案を各委員会に付託。

- ◇6日 総務文教常任委員会
- ◇7日 福祉民生常任委員会
- ◇8日 経済建設常任委員会
- ◇12日 本会議 一般質問
- ◇13日 本会議 一般質問
- ◇15日 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。議案六件を追加上程。市長提出議案十件を原案可決。閉会。

疑、討論、採決。議案六件を追加上程。市長提出議案十件を原案可決。閉会。



今定例会における一般質問は、12月12日と13日に行われ、13名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、2月27日～3月19日までの予定です。



子どもの吃音支援について

問 子どもの吃音の現状は。

答 三歳児健診で、吃音について相談があった人数は、受診者三百五十人の内六人です。ことばと発達相談室での相談者は二人です。言葉通級指導教室では、八十二人中八人が吃音により通級になっています。

問 吃音の相談できる医療機関は。

答 専門医や吃音専門の言語聴覚士を配置する医療機関で相談することが望ましいです。専門医や専門の言語聴覚士が、全国的に少ない為、容易に相談することは難しいと認識しています。

問 四歳五歳児健診の必要性は。

答 二次健診を実施しており、子どもの発達や成長に繋がっています。五歳児健診を実施している市もありますので、実施状況や方法を参考に調査研究します。

問 言語聴覚士の常時配置は。

答 吃音を含め言語相談に関する



やなぎさわ ひろゆき 柳沢 浩之 (清風クラブ)

観光振興・子育て支援・スポーツ振興について

状況を確認し検討していきます。

問 子育てを支援する方々を対象に吃音に関する講演会や研修会の開催は。

答 吃音の子どもに対して、正しく接する事は、重要な事です。関係機関と相談し、保育士、保健師、言語聴覚士、教職員など子育てに関わる職種の方を対象に、講演会や研修会の実施を検討していきます。

その他、鉄道文化むら、ヒルクラム大会について質問しました。



ことばと発達相談室(プレイルーム)



さくらい きくえ
櫻井 喜久江
(無所属)

下水道・人口減少対策・ 峠の湯について

人口減少対策について

問 ぐんまちゃん家等を利用した首都圏での活動は。

答 ぐんまちゃん家では観光展を、サロン・ド・Gでは物産品や観光ルート等を紹介し、交流を深め、本市の情報発信を行っています。ぐんま暮らし支援センターでは、フェアや相談会に参加、現地見学会の参加者も出ました。新規就農者には支援体制も整えています。

問 移住コーディネーターの設置状況は。

答 移住定住の橋渡しとして有効であり、今後、調査検討します。

問 通勤費補助金制度で移住者を増やしている自治体もあるが本市はどうか。

答 調査検討します。

問 移住者の受け皿である空き家バンクの現状は。

答 現在登録物件の募集を行っています。

問 仕事があれば移住したい、との声があるが、企業誘致の現状は。

答 西毛広域幹線道路の整備により、交通の利便性が高まることは企業進出にとり有効であり、その沿線に工業団地の適地を求めることが出来るか検討し、計画的な工業団地の確保・整備に取り組みます。

その他、下水道事業について、峠の湯と周辺の整備について質問しました。



東京・銀座の「ぐんまちゃん家」



かない ひさお
金井 久男
(日本共産党安中市議員)

財政対策・保健福祉対策・碓氷 峠周辺の歴史を生かした観光開 発について

経常収支比率について

問 なぜ、前年度対比で急激に七・四％も上がったのか。

答 市民税の法人税割の影響、普通交付税（合併特例措置）の段階的縮減など経常収入が減少、歳出で耐震工事など公債費が増加しました。人件費、扶助費の高止まり、病院会計への支出が増加した結果と認識しています。

国保事業の広域化について

問 県が仮算定した交付金の額が前年度決算比十二・六％もの大幅増になっているが、国保税に影響があるのではないか懸念されている。納付金に合わせた国保税率を上げる予定なのか。

答 国の激変緩和措置もあるので平成三十年度の税率改定は行いません。

国保税について

問 厳しい財政の中で、一般会計からの繰り出して税額を抑えてきた。県の運営に変わった後で

は、この措置はようになるのか。

答 慎重に検討、実施していきますが、今後も法定外繰り入れが必要となることを考えられます。

松井田城址保存と活用について

問 「第一回歴史講演会」の市長の感想と城址保存活用に対する考え方は。

答 鳥瞰図などを見て、城址の規模が大きく、歴史的にも全国的にも、貴重な城址であると大変勉強になりました。



松井田城址の講演会



よしおか もとじ
吉岡 完司
(新政会)

**社会資本整備の取り組み・
入札制度について**

市の道路網整備計画について

問 国道十八号、西毛広域幹線道路とのアクセス道路を含めた市の道路対策についてどの様に考えているのか。

答 本市と他市及び市内各地域間を円滑に連絡する必要性と、効果の高い路線や区間から計画的に道路整備を推進していきます。

問 緊急性の高い道路整備で陳情書、要望書の進捗状況は。

答 陳情書、要望書につきまして、測量作業に着手したものを含めて進捗率は約六十六%です。今後も現地調査や緊急性を考慮し進めます。

市内業者の育成について

問 市内業者の格付けについてどのような基準で行っているのか。

答 過去三年間の公共事業完成高、客観点数、特定建設業の許可の有無を基準として三段階に格付けをしています。

問 工事受注状況を精査し、偏った

た入札発注にならない様な配慮を行っているのか。

答 可能な限り地域活性化の観点から、地元市内業者の受注を基本に対処しているところです。

問 市内業者は受注量も少なく大変厳しい状況である。工事の平準化と共に、地元企業の育成についてどの様に考えているのか。

答 年間を通じた切れ目のない発注は、地域経済の活性化に重要です。平準化に向けて努力していきたいと思えます。



市が改良中の道路



いまい としひろ
今井 敏博
(新政会)

**平成三十年度予算編成方針・
市民要望対応予算の確保・
教育行政予算の考え方について**

一般財源の増額の確保について

問 市民税法人税割、地方交付税の制度改正による減少、さらに経常収支比率が一〇四%である事を踏まえ、一般財源をどう確保していくのか。

答 市税では課税免除の見直し、徴収対策、市有財産の有効活用など考えています。また特定財源の取り組みも行っていきます。

問 歳出の抑制についてどのように考えているのか。

答 一般財源枠配分方式を投入し、二十九年度経常支出の一般財源に実施計画の事務事業分を加えた額から五%を減少したものを配分します。

市民要望予算の確保について

問 人脈や人材を活用して財源を確保すべく県や国に対して市長自ら要望活動等を行ってきたのか、また今後要望活動等を行う考えがあるのか。

答 様々な機会を通じて要望活動

を行っていきます。職員に対しても国県の補助金を積極的に活用するよう指示をしていきます。

教育委員会の管理している施設の改修について

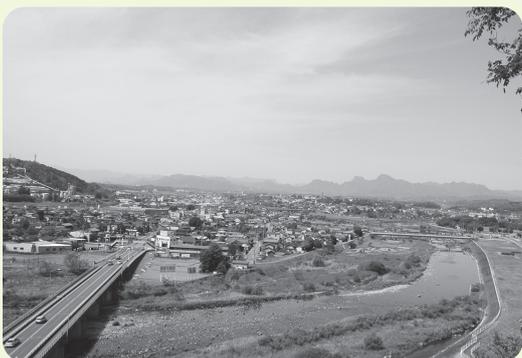
問 野球場や陸上競技場の改修についての考えは。

答 野球場は、オフシーズンにグラウンドの整備を行います。

給食費無料化拡大の考えについて

問 来年度、拡大の予定は。

答 財政状況を見極め無料化を中一までにするか結論を出します。



安中市の展望



こばやし かつゆき
小林 克行
(民声クラブ)

行財政改革・公立碓氷病院・ 教育改革・貧困家庭支援について

経常収支比率について

問 比率上昇の原因は。

答 歳入においては、市民税法人税割の税率引き下げや、普通交付税の段階的縮減など、歳出においては、学校耐震大規模改修に伴う公債費の増加、人件費や扶助費の高止まり、病院事業会計への財政支援などによる経常支出の増加が要因です。

問 職員数については、財政比較分析表にも改善の余地があると記載されており、近年は人口減にもかかわらず職員数は増えている。改善すべきでは。

答 早期に定員適正化計画を策定し適正配置に努めます。
小中一貫教育について

小中一貫教育について

問 中一ギャップや不登校を減らすため、小中一貫教育を進めるべきでは。

答 先行して取り組む学校の情報をしっかりと分析し検討します。

通級指導教室について



無料学習支援教室(勤労者会館内)

問 送迎困難家庭への対策としてファミリースポートなどの利用も検討すべきでは。

答 対応策の一つと考えられます。

塾代支援について

問 クーポンの利用を、塾やスポーツクラブなどの教育事業に限定できる「学校外教育バウチャー制度」というものがある。大阪市等では既に導入し成果が出ているようだが導入の検討は。

答 有効性や効果など様々な面から検討します。

公立碓氷病院の改革について

問 公立碓氷病院は、新改革プランを策定し改革を進めているが、進捗状況は。

答 県の地域医療構想を踏まえ、在宅医療の支援強化、土日のリハビリ実施、出前講座、市民健康講座を実施、医師確保に粘り強く取り組みます。

肝炎対策について

問 平成二十七年以降に、新たに発売された経口剤により、医療が劇的に進歩していることなどを、肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業以前の陽性の可能性が高い方への新たな情報を周知する考えは。

答 フォローアップ事業や医療支援などの窓口は、安中保健福祉事務所所になります。広報やホームページなどで広く周知したいと考えます。



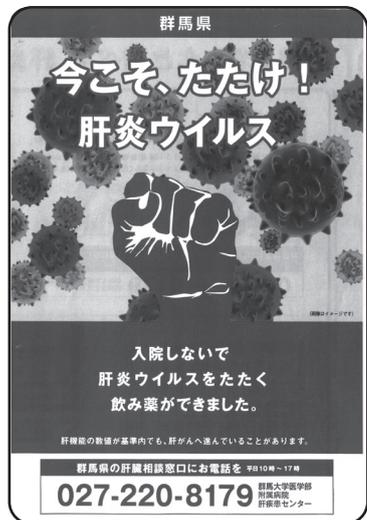
むしや ようこ
武者 葉子
(公明党)

医療・健康事業・市民の暮らし を守る事業・地域の集会所の管 理について

地域の集会所の管理について

問 地域コミュニティの大切な拠点である集会所又は住民センターの維持管理が、人口減少に伴い大変困っている地域も出てきているが、支援体制は。

答 当市には、百一の行政区域があり、一世帯に年間千三百円の区活動費交付金を交付しています。そのため、光熱水道費等は、こちらを充当していただいています。また、新築、増改築には、四分の一の補助や、敷地の補修には、原材料支給を行っていますが、解体費用は対象外です。



肝炎ウイルス対策のパンフレット



さくらい ひろえ
櫻井 ひろ江
(日本共産党安中市議員)

介護保険・子育て支援・ 秋間長岩の太陽光開発(民間)の 安全性について

介護人材について

問 市内でも介護人材不足は問題であり、ホームヘルパーの養成研修を市内で行う工夫が必要ではないか。

答 社会福祉法人などでの開催を働きかけるとともに、市も協力していききたいと考えています。

子育て支援拠点等整備事業について

問 子育て支援拠点の他に違う機能も取り入れるようだが、どういう位置づけか。

答 子育て支援、多世代交流、健康づくり、防災機能を取り入れて多くの人々が関われる施設を目指しています。

費用が膨らまないか心配。また、子育て支援拠点として運営が重要。スタッフはどうなるのか。

答 国庫補助の要件を満たすため、子育てに関する知識・経験を有する相談員を配置し、ボランティア



子育て支援拠点施設予定地

ニアの活用も含め、施設の運営に必要なたスタッフを配置する予定です。

スケジュールについて

問 保護者等の意見も聴き、設計を今年度中でなくとも、急がず慎重にやるべきではないか。

答 ワークショップでは様々な多くのご意見を頂き、巨大な施設ではなく、市の規模に見合ったものをつくっていきます。

その他、介護保険で一点と他の一項目を質問しました。



と お ま や ま と
遠 間 大 和
(新国会)

新庁舎について

新庁舎の建て替えについて

問 現状財源をどう考えているか。

答 民間活力やPFIなどの活用についても、検討の余地があると考えています。

問 事前準備組織の報告内容は、庁舎建設の候補地については、旧安中高校跡地が現実的であり、計画期間は、検討に約二年、基本設計等に約一年六カ月、工事着工から完成までに約二年六カ月の合計六年を想定しています。

問 旧安中高校跡地の購入のタイムスケジュールは。

答 平成三十年度での購入の意向や購入条件を県に伝えてありますので、早期の決着が図れるよう、交渉を進めます。

問 現庁舎の整備方針は。

答 耐震補強には多額の修繕費用がかかることから、大規模な整備を行うことは考えていません。

問 現庁舎の維持管理費について。

答 建物・整備の老朽化が著しいことから、給排水及び電気設備について、多額の維持管理費を要しています。



旧安中高校 校舎



おがわ つよし
小川 剛
(清風クラブ)

公共交通について

JR信越線の活性化について

問 安中・磯部駅周辺に市営駐車

場確保の声を多く聞くがどうか。

答 適地の不足で市営駐車場はな

いが、確保出来るよう民間空地

の買収や借り上げを検討します。

問 下り始発の六時台前半の増便、

新幹線利用者からは、最終の〇

時台追加の声を聞くがどうか。

答 始発は現状より早い時間帯の

便があれば良いと考えます。最

終も東京からの最終新幹線に合

わせれば望ましいと考えます。

問 群馬県工コ通勤推進事業を市

内企業に広めることはどうか。

答 地球温暖化対策からも鉄道利

用者増は重要です。市も積極的

に推進していきたいと考えます。

駅の整備について

問 磯部駅南改札の新設はどうか。

答 JRから駅員の常駐が条件とな

ります。経費は地元負担とな

り多額の費用が必要です。

新駅建設について



観光との連携で乗降客数増

問 今後の公共施設や宅地整備は、

公共交通と一体化した形が必要

である。安中・磯部間に新駅が

設置されれば中高生徒の利便性

向上や駅周辺の都市開発等、メ

リットが大きいと思うがどうか。

答 既設鉄道駅利用者の利便性向

上や周辺の土地開発、宅地造成

等の二次効果が見込まれます。

また、新駅建設は人口減少対策

の効果も見込めます。難点は、

費用の大部分が地元負担となり、

莫大な資金が必要となることです。



さとう たかお
佐藤 貴雄
(民声クラブ)

子育て支援施策・ 人権施策推進について

子育て支援拠点等整備について

問 工場跡地に子育て支援施設は

共感しづらい。何故この場所か。

答 地理的に市の中間にあり、広

い土地が確保できるからです。

問 土壌汚染の心配はないのか。

答 一部から鉛とホウ素が検出さ

れましたが、その部分の土壌を

入れ替えた対策をしました。

問 安全なら市民に情報公開し、

安全宣言をすべきではないか。

答 市民からの問い合わせには、

きちんと答えていきます。

問 B型就労支援等の商品を売店

で常設販売する考えはあるか。

答 運営管理は今後の協議ですが、

イベント時は販売できるレイア

ウトを考えます。

五歳児相談モデル事業について

問 発達障害等の支援体制は。

答 一歳六カ月児の健診票で行動

観察等の発達面を重視したスク

リーニングを行い、専門医等に

よる二次健診も実施しています。

問 五歳児健診実施に向けて、五

歳児相談事業を行う考えは。

答 他自治体の調査研究をします。

人権教育・啓発に関する基本計画

について

問 人権基本計画の策定状況は。

答 昨年度にアンケートを実施し

今後はパブリックコメントで市

民の意見を反映させます。

問 人権課題は可視化が困難であ

る。計画策定の推進目標は。

答 人権や個性を尊重し、誰もが

暮らしやすいまちを目指します。



人権教育講演会～LGBTを理解する～



つぎお ともい 曇 次 雄 (新政会)

**企業誘致・学校給食
行政排出の資源ごみについて**

企業誘致について

問 企業誘致が進まなかった原因は。

答 企業誘致実現に向けての推進実施計画の立案がされていない上、組織的にも、推進体制ができておりませんでした。

問 専門部署の設置時期は。

答 今は地域創造課が担当ですが都市整備課、農林課、企画課等各部署での連携が不可欠です。で、設置を検討するプロジェクトチームを年度内に設置の実現は可能だと考えています。

問 総合計画の中で、企業誘致についての位置づけは。

答 今後五年間で重点的に取り組み施策に企業誘致を含む商工業の振興を掲げています。

問 外部人材を活用した企業誘致検討の場を設ける考えはあるか。

答 今後設置予定のプロジェクトで検討していきます。

学校給食について

問 学校給食の課題は。

答 平成三十三年には、正規調理員が不足し、現体制維持に支障が出てきます。

問 自校、センター方式など今後の方針をいつまでに協議するか。

答 平成三十年より学校給食運営委員会の中で運営方法を総合的に検討していきます。

行政排出の資源ごみについて

問 行政資源ごみ回収の現状は。

答 一部施設で不適切な処理が見られたが、至急改善します。



学校給食センター調理室



ひさお かつみ 久 男 巽 (新政会)

秋間地区の土砂崩れ直後の市の対応・道の駅の計画・総合体育館管理・米山公園の管理改善について

総合体育館管理について

問 アリーナの雨漏りの改善については。

答 昨年十二月の市議会定例会の一般質問において、指摘のあったアリーナの北西側の屋根の雨漏りについては、本年度に専門業者に依頼し、コーキング処理により修繕をしました。また、

去る十月二十二日の台風による大雨で発生したアリーナ南東側とエントランスホールの天井の雨漏りについては、今後、早急に修繕の実施を考えています。

問 アリーナ放送員の音の改善については。

答 アリーナにおける天井設置型の音響設備については、大きく聞こえづらいとの指摘が利用者の皆様からあります。このようなことから、時には利用者の皆様に自立型ボックススピーカーを使用して放送していただくようお願いをすることもあります。本



総合体育館アリーナ スピーカー

来、施設備え付けの音響設備で利用者の皆様に快適に利用していただかなければならないと認識しています。そのため、今後、庁舎関係部署との協議及び専門業者等からの情報収集などを行い、必要な対策を講じるよう、考えていきます。

その他、秋間土砂崩れの直後の市の対応、道の駅計画の進捗状況、米山公園の噴水、流水池、東屋の修理改善について質問しました。

総務文教常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会は、平成二十九年十月十一日から十三日までの日程で、大阪府守口市「行財政改革について」及び岡山県笠岡市「給食センターPFI事業について」行政視察を行いました。

守口市は、平成十九年度に実質収支において約三十九億六千万の赤字を出し、第二の夕張市になると報道されるぐらい危機的状况にありました。しかし、平成二十三年に新しい市長のもと、「行財政改革プロジェクトチーム」を早期に立ち上げ、「もりぐち改革ビジョン」を策定し、様々な改革を断行し黒字化に成功しました。中でも、公共施設の見直しが特徴で、美術館や、青少年センター、文化会館、老人福祉センター、一〇〇〇人規模のホールがある市民会館を廃止するなど、多くの公共施設の見直し、廃止を行いました。

笠岡市は、老朽化に伴い新たに給食センターを建設する際に「P

F」方式」を取り入れました。従来の業務委託による方法では将来的に維持管理・運営費が増加する傾向にありますが、「PFI方式」では、設計・建設から維持管理・運営費を含む長期の契約が可能となり、ライフサイクルコストでの財政負担を軽減できます。そして、VFM（財政負担削減率）算定の結果、公設公営による運営よりも財政負担が七・四％削減できるという結果になり、この方式を進めることになりました。



行財政改革について(守口市)

福祉民生常任委員会行政視察報告

福祉民生常任委員会は、平成二十九年十月二十五日から二十七日までの日程で、兵庫県赤穂市の「市民病院改革プランについて」、山口県岩国市の「子育て支援施設の概要について」及び「新しい総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業）について」行政視察を行いました。

赤穂市は、公立病院としての役割を認識し、住民に対して良質な医療を提供していくために、健全化計画、財政計画、民間の経営手法の導入を図る観点から、市民病院改革プランを策定しました。良い医療を効果的に思いやりの精神をもって、医療水準の向上や患者サービスの一層の向上を図るということがです。本市も公立碓氷病院の改革プランを策定しています。参考にしていきたいと思えます。

岩国市は、まず、子育て支援施設を視察しました。既存の施設をリニューアルして、こども館とし

て活用しています。こども館には、遊具や多目的ホールが整備されており、子どもたちが楽しく利用し、利用者も年々増加傾向で定着しています。その後、新しい総合事業について視察しました。高齢者が要介護要支援となる前からの介護予防を推進し、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的に実施しているとのこと。本市での事業を進めるにあたり、参考にしていきたいと思えます。



市民病院改革プランについて(赤穂市)

経済建設常任委員会行政視察報告

経済建設常任委員会は、平成二十九年十月四日から六日までの日程で、奈良県大和郡山市「城址整備事業と観光との関係」及び広島県廿日市市「世界遺産を活用した観光拠点づくりについて」行政視察を行いました。

大和郡山市は、「平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町」をまちづくりの指標として掲げ、郡山城天守台展望施設整備事業を平成二十五年から四カ年計画で整備し、今年三月に完成、二十九年より郡山城にぎわいづくり事業を開始、桜まつり、観月会、結婚式等を天守台で開催し、休日は石垣の語り部を養成し無料案内活動を実施しており、観光拠点として多くの観光客を誘致していました。城址整備による観光振興に多くの可能性があると感じました。

廿日市市は、平成二十七年一月に「一流の国際観光拠点を目指す」を基本方針に廿日市市観光振興基

本計画を策定し、世界遺産「宮島」のブランド力の持続・向上を図り、閑散期の集客アップや、外国人の受け入れ環境を整備する等を施策の柱にして開始しました。昨年の宮島来島者が四百万人を超え、外国人も急増して観光消費額も増加し成果を上げていました。宮島の伝統的建造物群保存地区保存条例を制定し町並みの保存整備に取り組みながら、一流の国際観光拠点を目指して諸政策を行っており大変参考になりました。



城址整備事業と観光について(大和郡山市)

議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会は、平成二十九年十一月十四日から十六日までの日程で、京都府亀岡市「議会運営・議会改革・議会活性化の取り組みについて」及び広島県呉市「議会運営・議会報告会の運営について」行政視察を行いました。

亀岡市では、平成十五年に、議会活性化について検討委員会を設置し、平成二十五年二月以降は議会運営委員会で調査検討を行ってきたとのことです。

また、さまざまな活性化策を行う中で、平成二十二年十一月に最初の議会報告会を開催し、本年も実施したとのことです。

議会報告会を開催する中で、「わがまちトーク」という、自治会からの要請によりその地区に議員が出向いて意見交換をするということも、昨年度から実施しているとのことです。

次に、呉市では、平成二十二年六月に呉市議会議会基本条例を制

定し、この条例に基づき、平成二十三年より議会報告会を実施しています。呉市の特徴としては、一般市民だけでなく、関係団体、高校といった多様な意見を聞く場を設けていますが、参加人数が減少しているとのことです。

また、平成二十八年の新庁舎移転に伴い、議会図書室を整備し、市民に開放し、議会図書室の機能向上を図り、図書館司書を雇用し、サービスの向上を図っているとのことです。



議会運営について(呉市)

平成29年4回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	結果
	議員名	金井久男	櫻井ひろ江	遠間大和	壘次雄	巽久男	小林克行	太田進一	櫻井喜久江	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	佐藤貴雄	吉岡登	高橋由信	武者葉子	上原富士雄	齊藤盛久	奥原賢一	田中伸一	柳沢吉保	廣瀬晃	
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて平成29年度安中市一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第68号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第69号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第70号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第71号 安中市大規模太陽光発電設備設置促進条例を廃止する等の条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号 安中市営土地改良事業に係る土地改良法の規定に基づく特別徴収金の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号 平成29年度安中市一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号 平成29年度安中市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号 安中市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号 安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号 安中市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号 平成29年度安中市一般会計補正予算(第4号)		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号 平成29年度安中市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※齊藤盛久議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

●人権擁護委員

安中

小原加代子

松井町人見

松本靖子

東上秋間

中曾根章二

人事関係以外の議案

●専決処分の承認を求めることについて

平成二十九年度安中市一般会計補正予算(第二号)

●安中市大規模太陽光発電設備設置促進条例を廃止する等の条例の制定について

大規模太陽光発電設備の設置については、東日本大震災以降、多くの発電設備が設置され、設備の促進に効果が得られたことと、太陽光発電設備の設置にあたっては、

一定のルールが設けられることから、条例を廃止するものです。

●安中市営土地改良事業に係る土地改良法の規定に基づく特別徴収金の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について
土地改良法の一部改正により、

同法の条文を引用している箇所に生じた条項ブシの解消及び規定の整理を行うため、条例の一部を改正するものです。

●平成二十九年度安中市一般会計補正予算 (第三号)

●平成二十九年度安中市国民健康保険特別会計補正予算 (第二号)

●議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に基づき、議会議員の期末手当の率を〇・一カ月引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

●安中市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に基づき、市長、副市長、教育長の期末手当につきまして、〇・一カ月引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

●安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に基づき、月例給の引き上げ(平均改定率〇・二%)及び勤勉手当の率を〇・一カ月引き上げるなど、条例の一部を改正するものです。

●安中市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について
官民の退職手当支給水準の格差の均衡を図るため、国における改正法案の可決に基づき安中市職員の退職手当の調整率三・三%を引き下げるため、条例の一部を改正するものです。

●平成二十九年度安中市一般会計補正予算 (第四号)
安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の内容などにより、歳入歳出それぞれ二千七百四万円を追加し、補正後の予算総額を二百五十八億三千九百九十九万八千円とするものです。

●平成二十九年度安中市下水道事業特別会計補正予算 (第一号)
安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の内容など

により、歳入歳出それぞれ二百二十六万二千円を追加し、補正後の予算総額を十億八千八百八万九千円とするものです。

●平成二十九年度安中市一般会計補正予算 (第一号)

安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の内容など

により、歳入歳出それぞれ二百二十六万二千円を追加し、補正後の予算総額を十億八千八百八万九千円とするものです。

次の定例会(予定)

次の定例会は、二月二十七日から三月十九日までの二十一日間の会期で開催される予定です。

◆2/27日 本会議 開会

議案の上程等
施政方針

◆28日 本会議 議案の上程等

◆3/14日 本会議 一般質問
◆15日 本会議 一般質問
◆19日 本会議 委員長報告

採決等、閉会



新春恒例出初式

編集後記

平成二十九年最後の十二月議会が開催され、最終日には「第二次安中総合計画(案)」も提示されました。活発な一般質問も行われ特に市の財政、都市計画についての質問が目をひきました。今まさに予算編成の最中であり、三十九年度は相当厳しい予算となりそうなので答弁でした。議員各位も先行きの市政運営に対して、相当な危機感を持って市民要望の実現との板挟みに苦慮する姿が印象的でした。次回三月議会は、次年度予算案の提示、施政方針の発表もあり、活発な議論が展開されます。

(壘)

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎382-1111 内線 1349番

編集委員

◎金井久男
○小川剛
壘次雄 小林克行
太田進一 櫻井喜久江
武者葉子 柳沢吉保